



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R4 CS通信No.5 R4.6.15



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

田植え体験(舞小5年)・海洋環境保全学習(小6年)・中体連壮行式

舞戸小学校第5学年では、5月26日(木)、学校近くの田んぼを借りて、田植え体験をしました。

まず始めに、JAの担当の方から苗の植え方についての説明を聞きました。次に、地域に住む農家の方に、「わく」という古い道具を使って、苗を植えるためのかたをつけてもらいました。その後、はだして田んぼに入り、苗を植えていきました。

最初は、足が泥の中に深く入り込み、なかなか前に進むことができませんでしたが、慣れてくると、苗を植えながら上手に前に進むことができるようになりました。

担当の先生から投げ込まれた苗の束を受け取り、手際よく植える子どもたちもいました。

全身泥だらけになりながら田植えを行い、子どもたちは満足そうでした。



西海小学校と舞戸小学校の6年生児童が、6月9日(木)、海上保安協力校として、日本海拠点館と鯨ヶ沢海水浴場で、海洋環境保全学習を行いました。スローガンは、「未来に残そう青い海」です。

まず始めに、担当の海上保安官の指導の下、グループ毎に、燃えるゴミと燃えないゴミ、粗大ゴミを集め、海岸の漂着ゴミ調査をしました。

次に、集めたゴミの重さを量って、記録用紙に記録していきました。

ゴミ調査が終わった後は、世界の海のゴミ問題や海上保安庁の仕事について学びました。

閉会式では、代表児童が、「思ったよりゴミの量が多いのでびっくりした。」「あまりゴミを出さないように気をつけたい。」などと感想を發表しました。



鯨ヶ沢中学校では、西つがる中学校体育大会に備え、6月10日(金)午後、壮行式が行われました。

始めに各部のメンバー紹介と決意發表がありました。1年生は、初めての大会で、3年生のためにがんばりたいという決意が多くありました。

3年生は、最後の大会で、楽しく参加し、思い出を作りたいという決意が多くありました。

選手宣誓では、代表生徒が、「感謝の気持ちを忘れず、仲間を信じ、自分を信じ、全力を尽くしたい」と發表しました。

最後に、相馬治校長先生が、「鯨中の部活の目標である「礼儀」「仲間」「強い心」をすべて發揮してほしい」と選手を激励しました。

